

琉球病院

Monthly



独立行政法人
国立病院機構 琉球病院
National Hospital Organization RYUKYU Hospital

Vol.05
2013.May

発行者 琉球病院事務部長
藤田 博文

院長

村上優(むらかみ・まさる)
1949年生まれ、
74年九州大学医学部卒業。
86年国立肥前療養所精神科医長。2002国立肥前療養所臨床研究部長、
同年King's College London Institute of Psychiatry (司法精神医学研究所) 長期研修。
2005年花巻病院臨床研究部長(併任)を経て、2006年琉球病院長に就任。
日本司法精神医学会理事、日本アルコール関連問題学会監事、NGOベレヤワル会の副会長として活躍。



基本理念

この病院で最も大切なひとは医療を受ける人である

新病棟建設について

開かれた精神医療を目指して
2014年 琉球病院が生まれ変わります。

2014年11月、沖縄本島中央部金武町の丘陵地帯に位置する当院敷地に新病棟(1期)が、翌年9月には作業療法棟(II期)が開棟します。

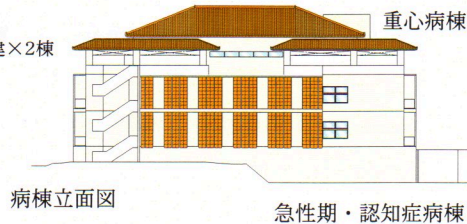
当地は金武湾を眼下に見下ろし、遠くは金武湾を取り巻くように連なる勝連半島・平安座島・宮城島・伊計島を眺望する海と緑に囲まれた美しい環境の中で新琉球病院では専門医療として治療抵抗性精神疾患への医療、認知症医療、重度心身障がい児・者医療の病棟と作業療法棟の建替整備を実施し診療機能の再編成をします。



【新病棟概要】

◆ 2014年10月完成予定(1期) 3階建×2棟

1F 治療抵抗性・急性期(男性)
2F 治療抵抗性・急性期(女性)
3F 認知症病棟
1F 重症心身障がい病棟
2F 重症心身障がい病棟
3F 療育訓練棟



病棟立面図

急性期・認知症病棟

◆ 2015年8月
完成予定
(II期)

作業療法棟
998㎡



診療科

- ・一般精神科
- ・こども心療科
- ・物忘れ外来
- ・アルコール依存症等外来

病床数
406床

- ・精神科病棟 181床
- ・認知症 50床
- ・アルコール 54床
- ・児童思春期
ユニット 4床
- ・重症心身
障がい 80床
- ・医療観察法 37床



那覇市からのアクセス



●アクセス

路線バス/ 那覇BS(下り)または名護BS(上り)より沖縄バス
[77番名護東線]浜田バス停下車徒歩3分

自動車/ 那覇市から40分
沖縄自動車道金武インターから名護向け5分

トピックス

行事・出来ごと

- 病棟建替整備の動き
- 進捗状況：基本設計終了(現在実施設計中)
 - 準備工事(中病棟解体及び駐車場整備等) 平成25年5月1日(水)～7月31日(水)
 - 病棟完成予定 平成26年10月 作業療法棟完成予定 平成27年8月
- 看護の日イベント「屋外健康相談」 於：かねひで金武店駐車場 対象：地域住民の皆様
平成25年5月20日(月) 10:00～14:00

教育・研修

- 平成25年度新規採用看護職員研修(第2回) 平成25年5月30日(水)～5月31日(金) 対象：新規採用看護職員

● 地域医療連携室だより

・活動状況 当院には、50床の認知症治療病棟があり、地域医療連携室を相談窓口として医療機関、包括支援センター、ご家族の方からの電話・来所相談を行っています。近年は老人保健施設や有料老人ホームからの受診・入院相談も増加しています。H23年度より、地域に開かれた認知症治療病棟を目指して、介護支援専門員や包括支援センター等を対象に当院の病棟見学会やミニレクチャーを行ってきました。関係機関の方々よりご要望があれば、今後も「認知症勉強会」の開催を積極的に行いたいと考えております。

何かお困りのことがあれば、お気軽に地域医療連携室へご相談ください。

お問い合わせ時間
8:30～17:15(土・日・祝日以外)
TEL:098-968-2133(代)
内線:231・234
FAX:098-968-7370
地域医療連携室直通



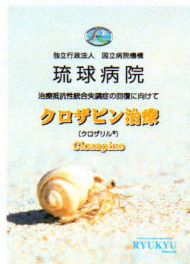
空床状況

精神科病棟 1床	認知症 1床	アルコール 2床	児童思春期ユニット 1床
-------------	-----------	-------------	-----------------

4月20日現在

※ 入院予約に関するお問い合わせは地域医療連携室へご相談下さい。

治療抵抗性精神疾患への医療



クロザピンの治療状況

治療抵抗性統合失調症に対して、平成22年1例目の投与を開始し、全症例は74例となりました。平成25年3月の新規導入は3例で、治療経過も良好です。退院数も24例を超えました。

m-ECTの治療状況

当院では、県立北部病院麻酔科のご協力の下、m-ECTによる治療を行っております。平成25年3月の治療実績は5例であり、各症例とも改善傾向が認められております。

こども心療科

平成24年度は220件の新患を受け入れました。年齢別割合は図1をご参照ください。

受診地域は当院の診療圏域である中北部を中心に、糸満市や南風原町など南部からの受診や離島からの受診が増えたことが24年度の特徴でした(図2)。24年度は予約が取りにくい状況が続き、ご迷惑をおかけしました。今年度は医師や心理士の数を増やし、診療体制を整えるとともに、新患の待機を解消し、速やかに受診して頂けるよう努めます。

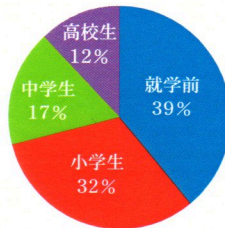


図1 平成24年度年齢別割合

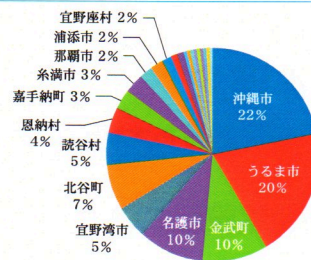


図2 平成24年度地域別割合

認知症医療

役割と診療状況

4月に入り中I病棟は新採用者職員が4名加わり、新しいスタートを切りました。当病棟には担当の作業療法士(池田)がおり、週3回の認知症作業療法を行っています。患者さんは毎回楽しみにしており、火・金は約25名、木曜日は約15名の方が参加しています。

認知症作業療法は、患者さんの残存機能に働きかけ、運動機能の改善・維持や、視覚・触覚から入る刺激による脳の活性化を図る目的があり、ボール遊びや手工芸など多種多様なプログラムを提供しています。

これからも、患者さんが楽しみながら取り組める認知症作業療法を、病棟スタッフ全員で協力し、実施していきたいと思っております。



アルコール・薬物依存医療

・沖縄女性財団ている健康教室『飲酒と健康』を行ないました
精神科医師 中井美紀

去った平成25年1月19日(土)おきなわ女性財団主催の平成24年度健康教室の一環で『飲酒と健康』という題目をいただき那覇市のおきなわ女性財団に於いて講演会を行いました。対象は一般の方で、参加者は21名(男性8名、女性10名、無回答3名)でした。講演時間90分でアルコール依存症・飲酒問題チェックテスト・依存症にならないための適度で節度ある飲酒の勧め・飲酒運転とかなりボリュームのある内容でしたが、参加者の方に真剣に聴いていただきました。

参加者の方から『このような講座は多くの県民の方に聴いてもらうことが望ましい』という意見、また教育現場に携わる参加者の方からも『学校やPTAにもこのような講座を行ってほしい』という意見をいただき、これからもアルコールによる健康被害を伝える啓蒙活動の必要性・責任を感じております。

講演会をご希望される場合は、琉球病院地域連携室へご連絡をお願いいたします。

包括的地域精神医療 (ACT)

当院の訪問看護利用者は登録者数で200名を越えています。病状により、週3回から長い方では月1回の訪問看護を行っています。定期的な病状確認から地域の社会資源を活用する方法や、就労したい、作業所へ通所したい等「したい」ことの応援隊になりたいと思っております。利用者個々の夢や希望を大切にしながら、日々沖縄本島各地へ訪問活動を行っています。

臨床研究部の活動状況

【クロザピン導入前後のCP換算値について】～臨床精神医学研究部～

治療抵抗性統合失調症には、コントロール不良の副作用の問題によって十分量の抗精神病薬を投与できない耐容性不良の場合があります。当院で平成24年9月までにクロザピンを導入した47例の患者様のクロザピン導入前後のCP換算値の平均値を算出しました。その結果、クロザピン導入により、CP換算値は1308mgから769mgと半分近くまで低下しました。クロザピンは治療抵抗性統合失調症において、単剤投与による副作用発現低下も期待できることがわかりました。

